



2025年2月14日発行



JWU 子育てサイエンス・ラボが発行するニュースレター「ゆりのき」は子育てにまつわる様々なトピックやお気軽に参加できる「子育てサイエンス・カフェ」のご案内を掲載しています。以前の「ゆりのき」も[公式HP](#)で閲覧できます

### 第21回子育てサイエンス・カフェ報告（12月21日実施）

【小児科医の視点から見る】子どものまわりは危険でいっぱい —子どもたちを守るための傾向と対策

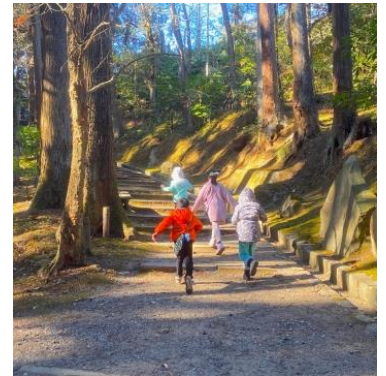
私たちの周りには、誤飲や交通事故、感染症など、子どもたちの安全を脅かす危険がいろいろなところに潜んでいます。ひとたび事故が起きれば、子どもたちの健康な未来を損ねる可能性もあるため、事故を未然に防ぎ彼らの安全を確保することは、我々おとなの大事な役目です。

みなさんは、子どものことを考えるというと、とても難しく考えがちです。自分より年老いた人間については頭で想像することしかできませんが、子どものことについては、誰もが一度経験しているわけですから、実はもう少し考えやすいのです。

子どもたちの行動を理解する場合に非常に大事なものは、その年齢、その体格になって（戻って）考えるということです。その際に、つい私たちおとながやってしまいがちなのは、自分の身長や行動半径、思考パターンで子どもの行動を考えてしまうことです。子どもは、身長が小さいため目線は低くなり、その分見える範囲も狭くなります。また、通常の行動半径は狭いものの興味があればかなり遠くまで移動します。また、知識や理解



力、人生経験についてはまだまだ初心者ですから、おとなが当然知っているリスク（例；刃物に触れば皮膚を切る、熱い茶碗に触ればヤケドをする、高いところから落ちれば打撲傷を負うなど）もわからないことが多いのです。しかも、これらの要素は、子どもの年齢によって大きく異なるため、対象になる年齢層を充分に考慮することも大事になります。



今回の講義では、日本女子大学の目白台キャンパス周辺で私が撮影したスナップ写真を見ながら、そこに潜む「危険」についてみなさんと考えました。その結果、おとなの私たちが日常では気づかなかった様々な「危険」が発見できたのではないかと思います。ここで、特に強調したかったのが、子どもの位置まで「目線を下げる」ということ。皆さんが見ているいつもの風景も、しゃがんで目線を下げるだけで普段のおとなの目線では気づかない何かが見えてくるのです。危険に気づくことができればその対策を考えることができますので、この「気づき」こそがとても大事なのです。

さあ、皆さんも明日からときどきしゃがんで周りを見てみましょう。躓きやすい段差、突き刺さりそうな突起、入り込みそうな隙間、口に入りそうな異物、高い棚の落ちてきそうな本などいろいろなものが見えてくるはず。子どものいる空間で安全を保つには、それらに対する十分な対策が必要なのが実感できるはずです。



（家政学部児童学科 教授 平田倫生）



次回の子育てサイエンス・カフェは！

第22回 子育てサイエンス・カフェ



赤ちゃん 集まれ！



Baby



親子のための絵本読みあい講座@日本女子大学

今回のJWU子育てサイエンス・カフェは、初めての対面開催！赤ちゃんの時期から親子で一緒に楽しむことができる【絵本】を題材に、赤ちゃんとのコミュニケーションのありかたを考えてみませんか？  
前半では「赤ちゃんの声と聞こえの発達」と「絵本の読みあい」についてミニ講座で解説します。  
後半は実際に絵本を楽しみながら、絵本の持つ魅力を赤ちゃんとも味わう方法を一緒に考えてみましょう。



0~1歳

参加方法は2タイプからお選びください！

赤ちゃんと一緒に対面参加／



オンラインでご自宅から参加／



日時

2025年 3/8(土)

10:00~12:00(対面参加)

10:00~11:00(オンライン参加)

対面でご参加の場合

会場 日本女子大学目白キャンパス  
新泉山館 児童学科プレイルーム  
東京都文京区目白台 2-8-1

対象 0歳・1歳の赤ちゃんと保護者 定員:12組24名

- ・定員を超えるお申込みがあった場合は抽選とさせていただきます。
- ・会場の都合により1組2名とさせていただきます。(ごきょうだいを連れてのご参加はお控えください。)
- ・保育士等はありませんので、お子さまは必ず保護者の方が責任をもって見守りくださいますようお願いいたします。
- ・駐車場・駐輪場はございません。公共の交通機関でお越しください。
- ・ベビーカー置き場のご用意がございます。
- ・おむつ替えや休憩のスペースもございます。お気軽にご参加ください。

アクセス



オンラインでご参加の場合

プログラム第1部をご自宅でお楽しみください。  
(11時終了予定)

定員はございません。どなたでもご参加ください。

LIVE

会場の様子を  
ライブ配信！

対面参加のお申込み ▼ 申込締切:2/17(月)



<https://forms.office.com/r/xrzZrccPMS>

定員を超えるお申込みがあった場合は抽選とさせていただきます。  
抽選結果は、2月20日(木)までにメールでご連絡いたします。抽選結果  
に関わるお問合せへは回答いたしかねますのでご了承ください。

オンライン参加のお申込み ▼ 申込締切:3/6(木)



<https://forms.office.com/r/LEvLTstZ6X>

お申込み受付後、Zoom詳細をメールにて  
お送りいたします。

プログラム

第1部

赤ちゃんと一緒にミニ講座 オンライン・対面どちらもご参加できます。

- 10:00~ **赤ちゃんの声と聞こえの発達**  
講師 日本女子大学人間社会学部心理学科 准教授 麦谷綾子
- 10:30~ **絵本の読みあいについて**  
講師 日本女子大学家政学部児童学科 准教授 今田由香

オンライン参加の方はここまでご視聴いただけます。

第2部

赤ちゃんと一緒に実践編 対面参加の方のみご参加できます。

- 11:00~ **絵本の読みあいをしてみましょう！**  
「認定絵本土」の資格を取得した学生もスタッフとして参加します。
- 11:30~ **グループトーク**  
生まれが近い赤ちゃんを子育て中の保護者と、本学教員(第1部講師を含め、  
建築デザイン学科、児童学科、心理学科から参加予定)も交えて情報交換をしましょう！

LIVE

会場の様子を  
ライブ配信！



## 子どものウェルビーイングと遊びの場づくり～「ムーブメント教育」が生み出す笑顔の好循環～

児童学科では、和光大学の橋さつき教授をお招きし、第6回 JWU 幼児教育・保育セミナーを開催しました（11月9日（土）桜楓2号館4階ホール）。テーマは「子どものウェルビーイングと遊びの場づくり～「ムーブメント教育」が生み出す笑顔の好循環～」です。大橋先生には、ムーブメント教育・療法について様々な現場でのお話をまじえながらご講義いただいた後、ロープ・スカーフ・パラシュート等のムーブメント遊具を用いて実践の方法を指導していただきました。

ムーブメント教育・療法のもともとの考え方は、母親支援・家族支援・地域支援であり、子どもだけでなく子どもをとりまく人々

のウェルビーイングにも着目しているということで、色々な現場での活用可能性について語られました。当日は、保育・教育に携わる多くの方に参加いただき、「すぐに保育に活かせるアイデアをいただけて感謝しています（保育園保育士）」「ロープやスカーフがこんなに楽しめるものになるとは驚きです（教育関係）」などの感想があり、実技を含む充実したセミナーとなりました。

本セミナーは日本女子大学家政学部学術交流研究費運用事業として開催されたものであり、一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会公益事業部門のご協力のもと開催いたしました。



## 学内クリスマスイベント開催レポート

日本女子大学社会連携教育センター×社会福祉学科地域福祉ゼミ共催

### サンタの学校へようこそ～日本女子大学での多世代交流～



街はすっかりクリスマスモード一色の12月7日（土）、地域交流イベント「サンタの学校へようこそ！」を開催しました。本イベントは、人間社会学部社会福祉学科 地域福祉ゼミ（黒岩亮子准教授）と社会連携教育センターが主催する毎年恒例のイベントです。

め、2名の手話通訳者にもご協力いただき、全員で楽しい時間を共有することができました。学生たちにとっても、誰もが楽しめるイベントを作り上げる実践的な学びの場となったようです。



地域福祉ゼミの3年生たちがコンセプトやプログラムを企画し、有志ボランティアの学生らが運営に参加。ピンゴやスノードーム作り、ポッチャなど楽しいプログラムを実施しました。



学生たちは多世代、多国籍での交流をめざしてイベントを企画しました。子どもだけではなく、近隣に居住していればどなたでも参加でき、今回は16組40名がご参加くださいました。なかには聴覚障害のある方もいらっしゃった

～社会福祉学科地域福祉ゼミ 黒岩准教授より～  
毎年、学生達が提案するコンセプトを私自身も楽しみにしています。また、今年は障害のある方も当たり前のように楽しめる内容について思考錯誤を繰り返し、アイデアを出し合い準備を進めていきました。当日は参加者の皆さんの笑顔や声かけ、また手話通訳者の方の献身的なサポートもあり、とても良い時間を共に過ごすことが出来ました。関わって下さったすべての方に感謝申し上げます。



# 心理相談室のご案内



日本女子大学心理相談室では、地域の皆様の心の相談をお受けしています。  
たとえば…



- 子どもの発達や成長が気になる
- 不登校、集団になじめない
- 子育ての悩み
- 対人関係、親子関係
- 気持ちを整理したい
- 自分の性格、将来・生き方
- 自分を見つめたい など

相談は完全予約制です。お電話でお申込みください。

日本女子大学 心理相談室 **03-5810-1507** (直通)

受付: 月曜~土曜 9時~17時

日本女子大学 心理相談室



## ラボ 協力会員 募集中!!

お子様と  
大学の研究に  
参加しませんか？

日本女子大学「JWU 子育てサイエンス・ラボ」では、子どもの発達（例：ことば、コミュニケーション、見る力の獲得）や子育てについて、種々の学術調査を行っています。

ラボ協力会員に登録して、お子様と一緒に、本学の研究に参加しませんか？

(調査ごとに、ご登録者の中から年齢等の調査条件に合う方にご連絡します。調査内容・所要時間・謝金の有無等を担当者が説明し、参加をご了承いただけた場合は、ご都合に合わせて調査スケジュールを調整します。)

「ラボ協力会員」詳細、ご登録方法は [こちら](#) ▶

ラボ協力会員募集中 → [下スクロール](#) → 「登録は [こちら](#)」

